

第2章 方法

飯島明子

第7回自然環境保全基礎調査（干潟調査）は、2002年4月から2004年9月にかけて、北海道から沖縄まで全国157ヶ所の干潟で行われた（表2-1, 図2-1, 2-2）。調査地は、「日本の重要湿地500」（環境省, 2001）に選定された干潟を中心に、全国万遍なく配置した。

調査は、調査責任者（巻頭, 調査責任者一覧参照）1名以上を含む3名以上で行った。各干潟において、岸から汀線にかけて3本のラインを設定し、そのライン上で最も陸寄り・最も汀線寄り・その中間の3ポイントを設定した。ライン, ポイントは地図上に記入し, GPSにて緯度経度を測定した。ライン名はアルファベットで表記し, 内湾干潟の場合には湾口部（外側）から湾奥部に向かってA, B, Cと取った（図2-3）。また河口干潟の場合は, 河口部（海側）から河上流に向かってA, B, Cと取った。ただし, 現場の地形・面積などから判断し, ラインとポイントの数は増減させる場合もあった。従って2ラインしか取らない場合はA, Bのみとなり, 5ライン取った場合はA, B, C, D, Eとなった。ライン上のポイントは数字で表記し, 潮間帯の上部から下部に向かって, 1, 2, 3と取った。ライン上に2ポイントしか取らない場合は, 1, 2となる。ヨシ原やマングローブなど塩性湿地内のポイント名は「植生」とし, 主な構成植物を記録した。

ライン単位で写真を撮影し, その他底質や生物についても調査者の任意で撮影した。植生の写真も撮影した。

調査ポイントでは5m × 5m の方形枠を設定した。ただし地形によっては, 25 m²であっても正方形でない場合もあった。調査者は最初の5分間, 調査ポイントの方形枠内の底質表面で見られる底生動物の種と個体数の多寡（後述）, 干潟表面の植生や底質の状況を記録した。次いで, 調査者2名が10分間, 統一規格のスコップ（金象印根堀, スコップ部の幅14cm）を用い, 約20cmの深さまで底質を掘り返し, 目視で発見できた底生動物を採集した。現場で同定できる種については, 種名と個体数の多寡を記録してから放逐した。個体数の多寡は各種について, 以下のとおりとした。

A（多）：スコップで1回掘り返した中に1個体以上出現する。

C（普通）：全掘り返し回数の中で2個体以上出現するが, Aよりも少ない。

R（少）：全掘り返し回数の中で1個体のみ出現する。

現場で調査責任者に種名の判別できない種については, 液浸標本を作成し, 同定責任者（巻頭, 同定責任者一覧参照）に送付した。同定責任者は必要に応じて各分類群の専門家に依頼し, 同定を行った。

塩性湿地（「植生」ポイント）の場合は, 調査者2名が植生内を20分間歩き回り, 採集・確認した生物について種名と個体数の多寡を記録した。個体数の多寡は各種について, 以下のとおりとした。

A（多）：10個体以上出現する。

C（普通）：2～9個体出現する。

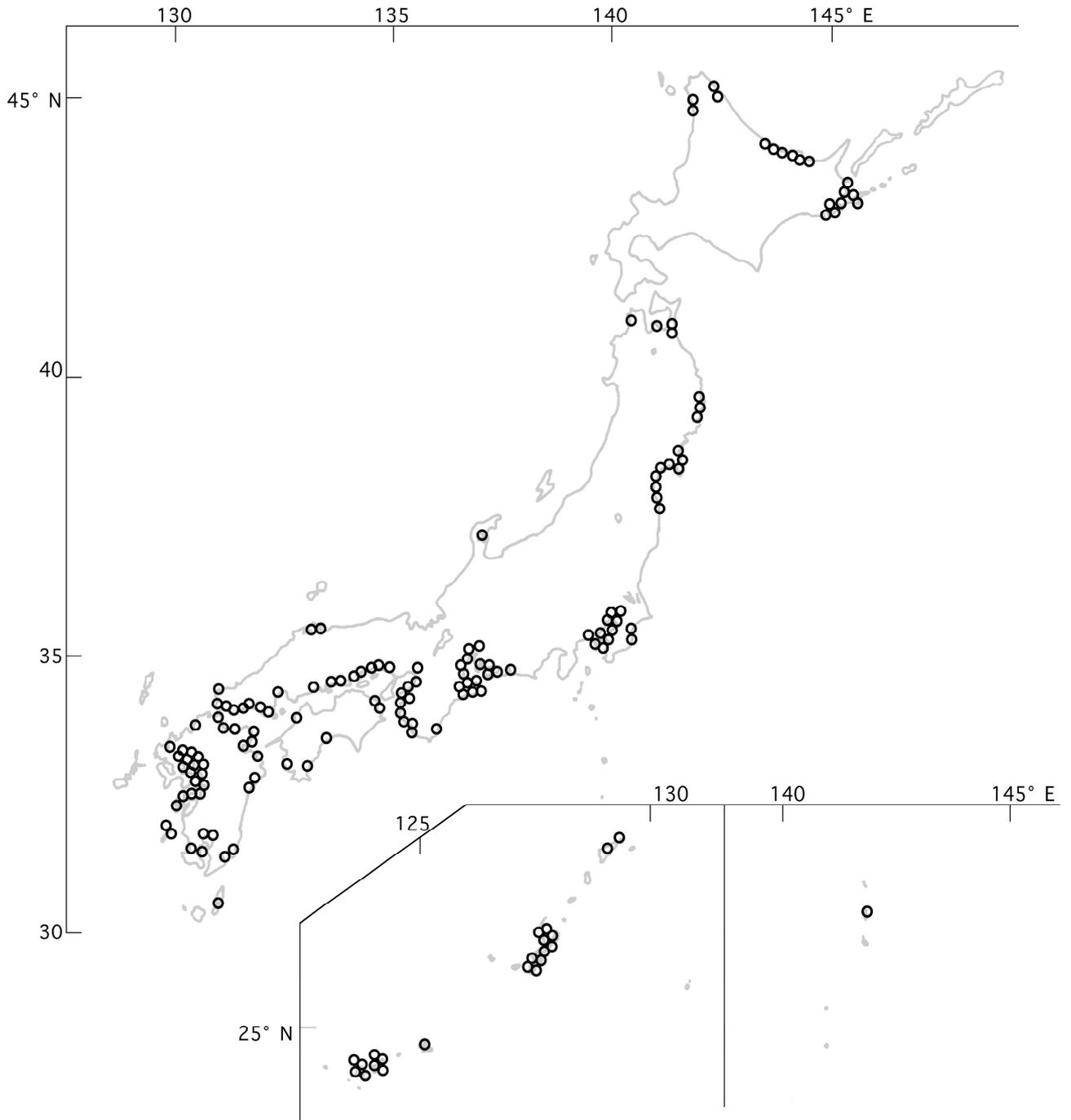
R (少) : 1 個体のみ出現する.

ここでも種名が判別できない種については標本を同定者に送付した.

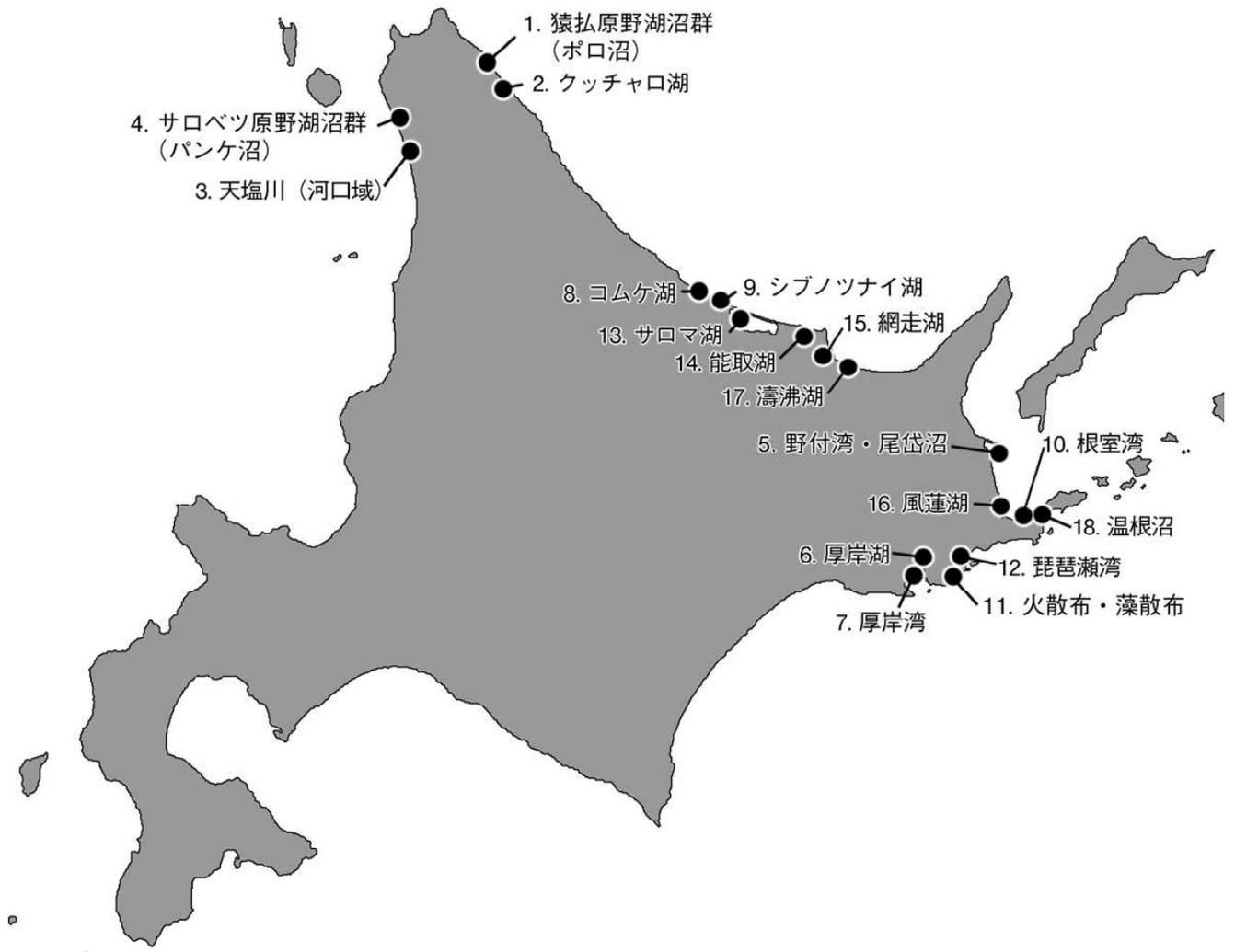
表2-1 全国干潟調査 調査地一覧

地域名	通し番号	干潟名	所在地 (都道府県)	地域名	干潟名	所在地 (都道府県)		
北海道	1	猿払原野湖沼群 (ポロ沼)	北海道	79	千種川	兵庫県		
	2	クッチャロ湖	北海道	80	有田川	和歌山県		
	3	天塩川 (河口域)	北海道	81	田辺湾 (内之浦)	和歌山県		
	4	サロベツ原野湖沼群 (パンケ沼)	北海道	中国四国	82	島田川	山口県	
	5	野付湾・尾岱沼	北海道		83	笠戸島・小深浦	山口県	
	6	厚岸湖	北海道		84	山口湾・壱野川	山口県	
	7	厚岸湾	北海道		85	秋穂湾	山口県	
	8	コムケ湖	北海道		86	厚狭川	山口県	
	9	シブノツナイ湖	北海道		87	有帆川	山口県	
	10	根室湾	北海道		88	木屋川	山口県	
	11	火散布・藻散布	北海道		89	四万十川	高知県	
	12	琵琶瀬湾	北海道		90	浦ノ内湾	高知県	
	13	サロマ湖	北海道		91	永江川	岡山県	
	14	能取湖	北海道		92	水門湾	岡山県	
	15	網走湖	北海道		93	笠岡湾	岡山県	
	16	風蓮湖	北海道		94	高梁川	岡山県	
	17	濤沸湖	北海道		95	吉野川	徳島県	
	18	温根沼	北海道		96	勝浦川	徳島県	
東北	19	小湊浅所	青森県		97	僧都川	愛媛県	
	20	小川原湖沼群 (鷹架沼)	青森県		98	細ノ洲	広島県	
	21	小川原湖沼群 (高瀬川)	青森県		99	宮島	広島県	
	22	陸中リアス海岸 宮古湾津軽石川河口 (金浜)	岩手県・宮城県	100	重信川	愛媛県		
	23	松島湾	宮城県	九州	101	筑後川	福岡県	
	24	松川浦	福島県		102	冲端川	福岡県	
	25	鶴住居川	岩手県・宮城県		103	矢部川	福岡県	
	26	陸中リアス海岸 山田湾綾笠川河口	岩手県・宮城県		104	和白干潟	福岡県	
	27	長面浦	宮城県		105	曾根干潟	福岡県	
	28	北上川河口	宮城県		106	諫早湾北岸	長崎県	
29	万石浦	宮城県	107		諫早湾南岸	長崎県		
30	蒲生	宮城県	108		中津港周辺	大分県		
31	井土浦	宮城県	109		笠利湾	鹿児島県		
32	広浦	宮城県	110		住用川	鹿児島県		
関東	33	鳥の海	宮城県	111	喜入町メヒルギ林湿地	鹿児島県		
	34	富津	千葉県	112	重富海岸	鹿児島県		
	35	三番瀬	千葉県	113	長井浜	福岡県		
	36	相模川河口	神奈川県	114	六角川	佐賀県		
	37	野島	神奈川県	115	永浦	熊本県		
	38	谷津干潟	千葉県	116	大野川	熊本県		
	39	江戸川	千葉県	117	緑川	熊本県		
	40	盤洲	千葉県	118	守江湾	大分県		
	41	夷隅川	千葉県	119	小深江漁港周辺	大分県		
	42	一宮川	千葉県	120	臼杵	大分県		
	43	葛西沖	東京都	121	本城川	宮崎県		
	44	小網代湾	神奈川県	122	志布志湾	鹿児島県		
小笠原	45	江奈湾	神奈川県	123	天降川	鹿児島県		
	46	二見湾	東京都	124	田古里川	佐賀県		
	日本海	47	十三湖	青森県	125	塩田川	佐賀県	
		48	七尾湾	石川県	126	伊万里湾	佐賀県	
		49	油谷湾	山口県	127	菊池川	熊本県	
		50	中海	鳥取県・島根県	128	塩屋海岸	熊本県	
		51	宍道湖	島根県	129	本渡干潟	熊本県	
中部東海		52	浜名湖	静岡県	130	氷川	熊本県	
		53	汐川干潟	愛知県	131	熊ノ江	宮崎県	
	54	矢作川河口	愛知県	132	北川・五ヶ瀬川	宮崎県		
	55	三河湾 (一色干潟)	愛知県	133	万之瀬川	鹿児島県		
	56	雲出川河口	三重県	134	浦内湾 (上鶴島)	鹿児島県		
	57	櫛田川河口	三重県	135	なまこ池・貝池	鹿児島県		
	58	祓川河口	三重県	136	八坂川	大分県		
	59	藤前干潟	愛知県	137	大浦川河口 マングローブ干潟	鹿児島県		
	60	木曾三川	三重県	138	羊角湾	熊本県		
	61	安濃川河口	三重県	沖縄	139	羽地内海 (饒平名)	沖縄県	
	62	志登茂川河口	三重県		140	羽地内海 (呉我)	沖縄県	
	63	英虞湾 (小才庭南)	三重県		141	羽地内海 (我部井)	沖縄県	
	64	英虞湾 (登茂山)	三重県		142	泡瀬	沖縄県	
	65	五ヶ所川	三重県		143	佐敷	沖縄県	
	66	五ヶ所湾 (伊勢路川)	三重県		144	具志・大嶺	沖縄県	
	67	伊川津	愛知県		145	塩屋・大保川	沖縄県	
	近畿	68	田辺湾 (立ヶ谷・藤島)		和歌山県	146	大浦	沖縄県
		69	西広海岸		和歌山県	147	億首川	沖縄県
70		湯川ゆかし潟	和歌山県		148	漫湖	沖縄県	
71		紀ノ川	和歌山県	149	与那覇湾	沖縄県		
72		和歌川	和歌山県	150	宮良湾	沖縄県		
73		田辺湾 (池田浦)	和歌山県	151	崎枝湾	沖縄県		
74		日高川	和歌山県	152	船浦	沖縄県		
75		男里川	大阪府	153	浦内川	沖縄県		
76		淀川	大阪府	154	川平湾	沖縄県		
77		加古川	兵庫県	155	名蔵湾	沖縄県		
78		新舞子海岸	兵庫県	156	前良・後良川	沖縄県		
			157	星立	沖縄県			

図2-1 調査地全国配置



北海道地域



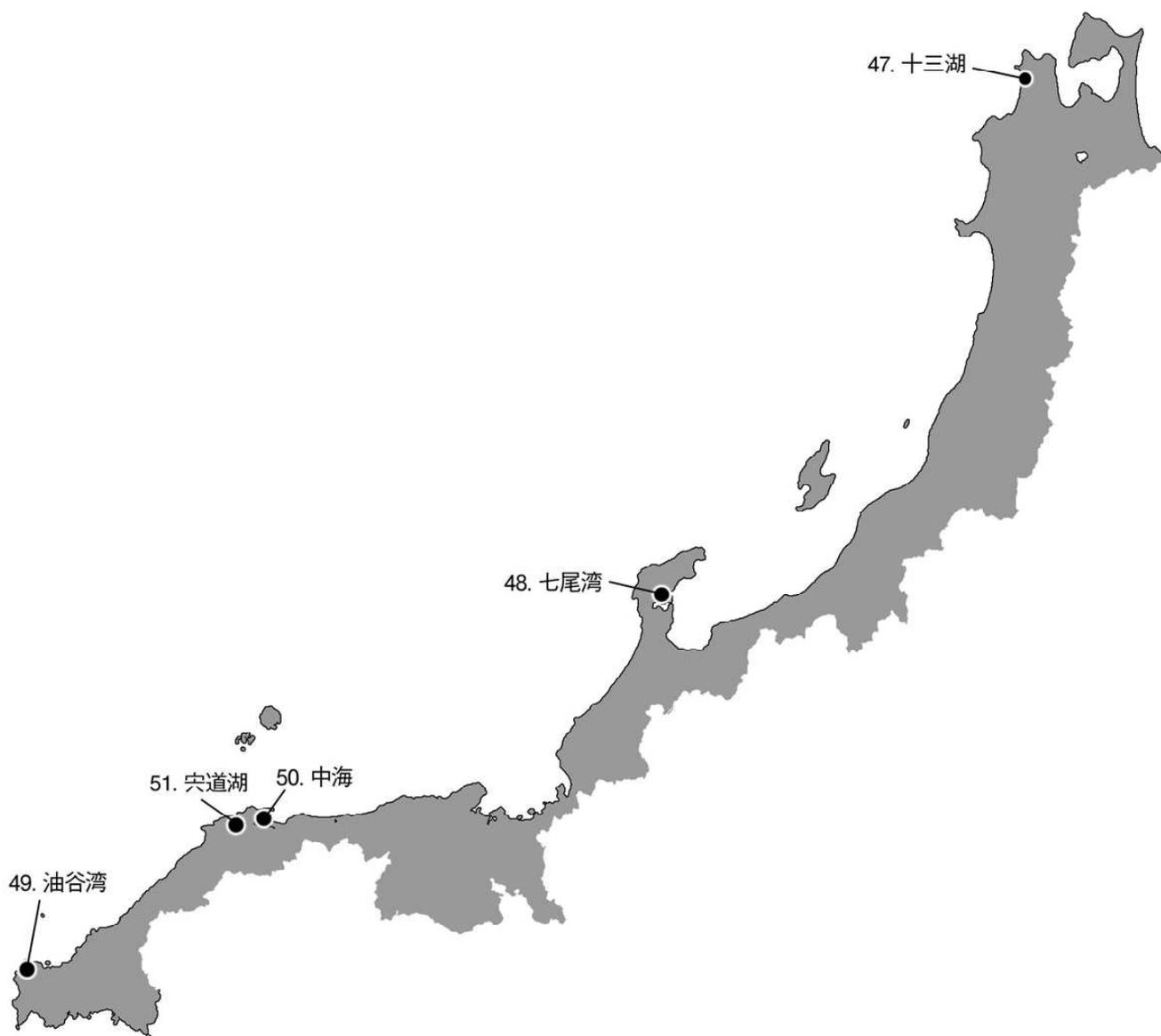
東北地域



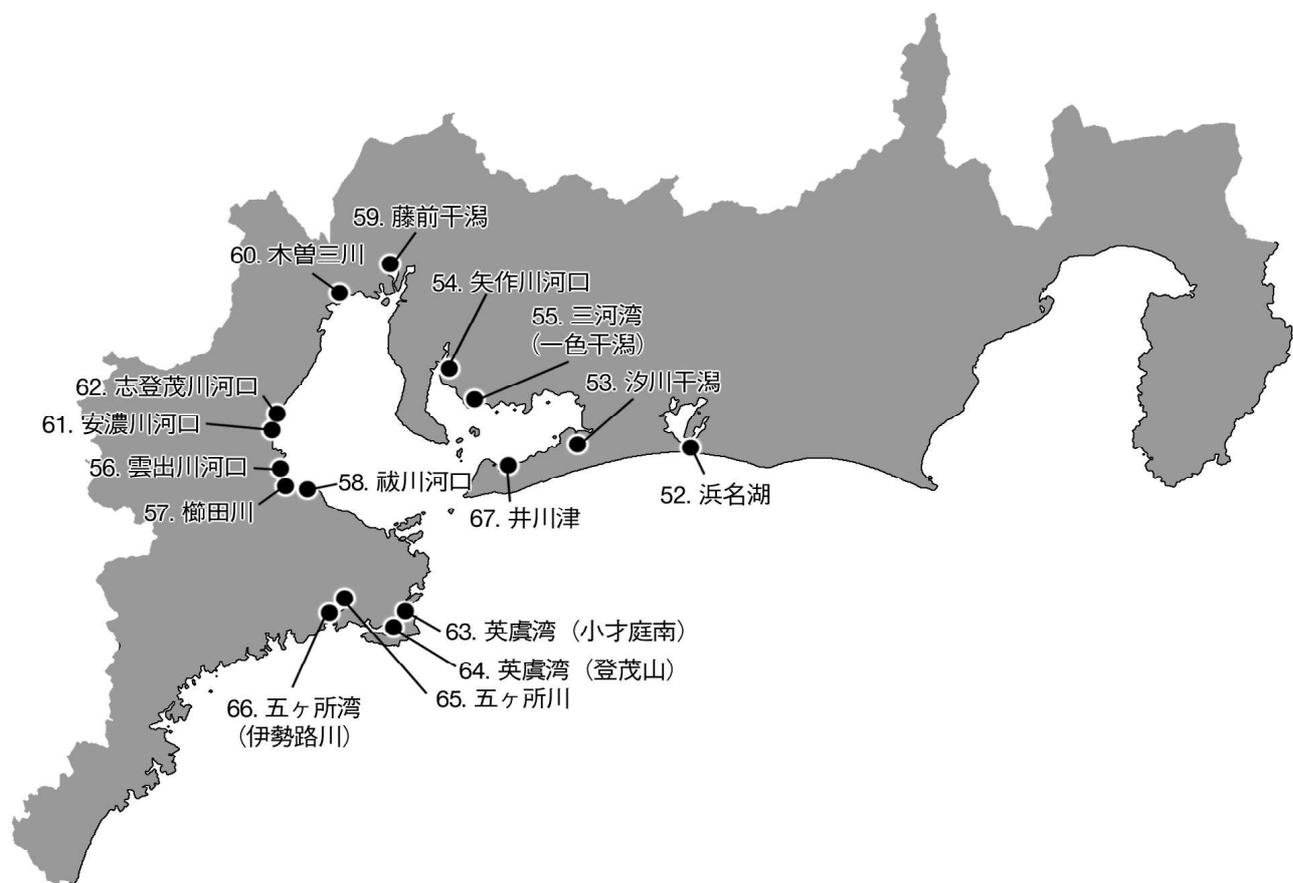
関東・小笠原地域



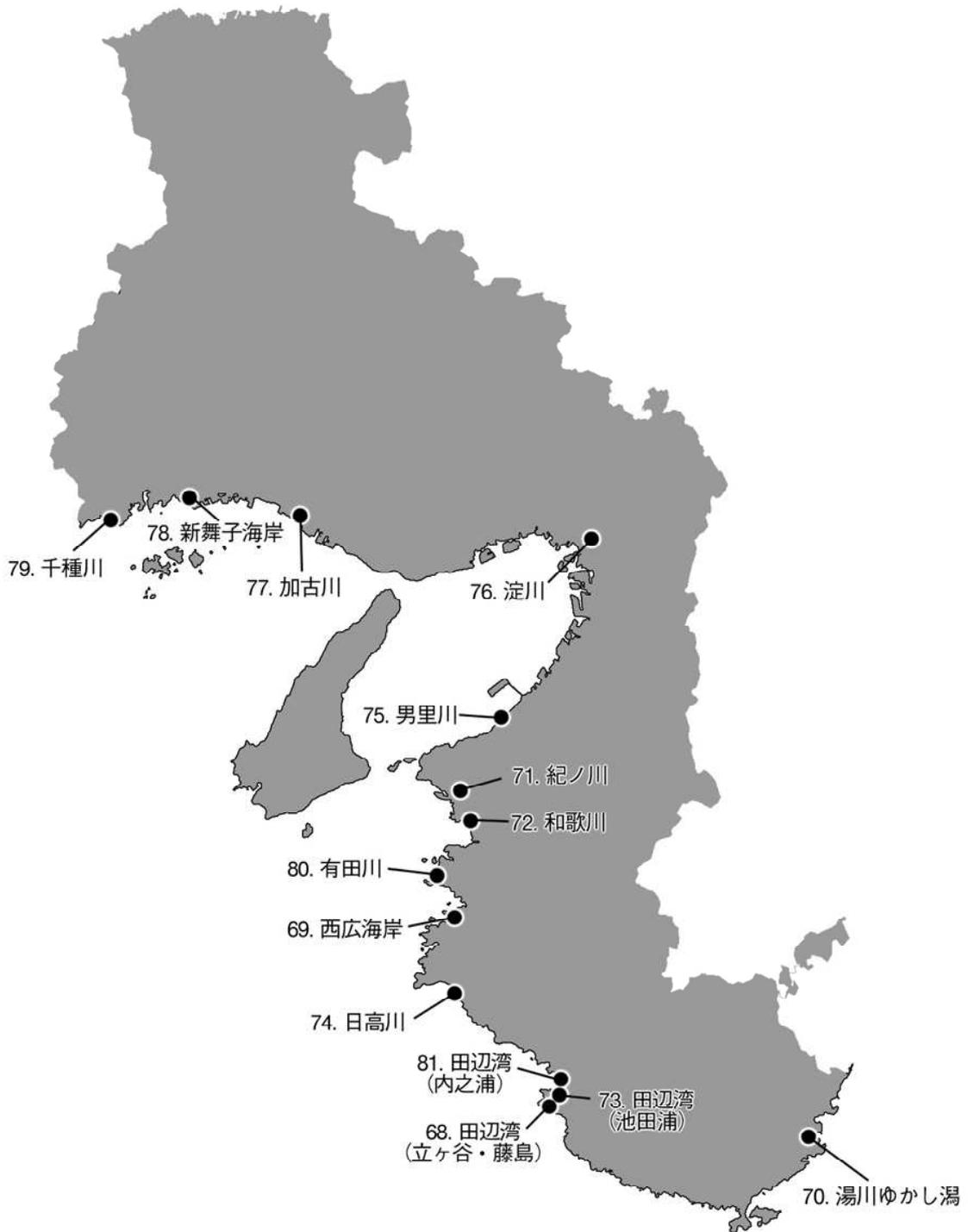
日本海地域



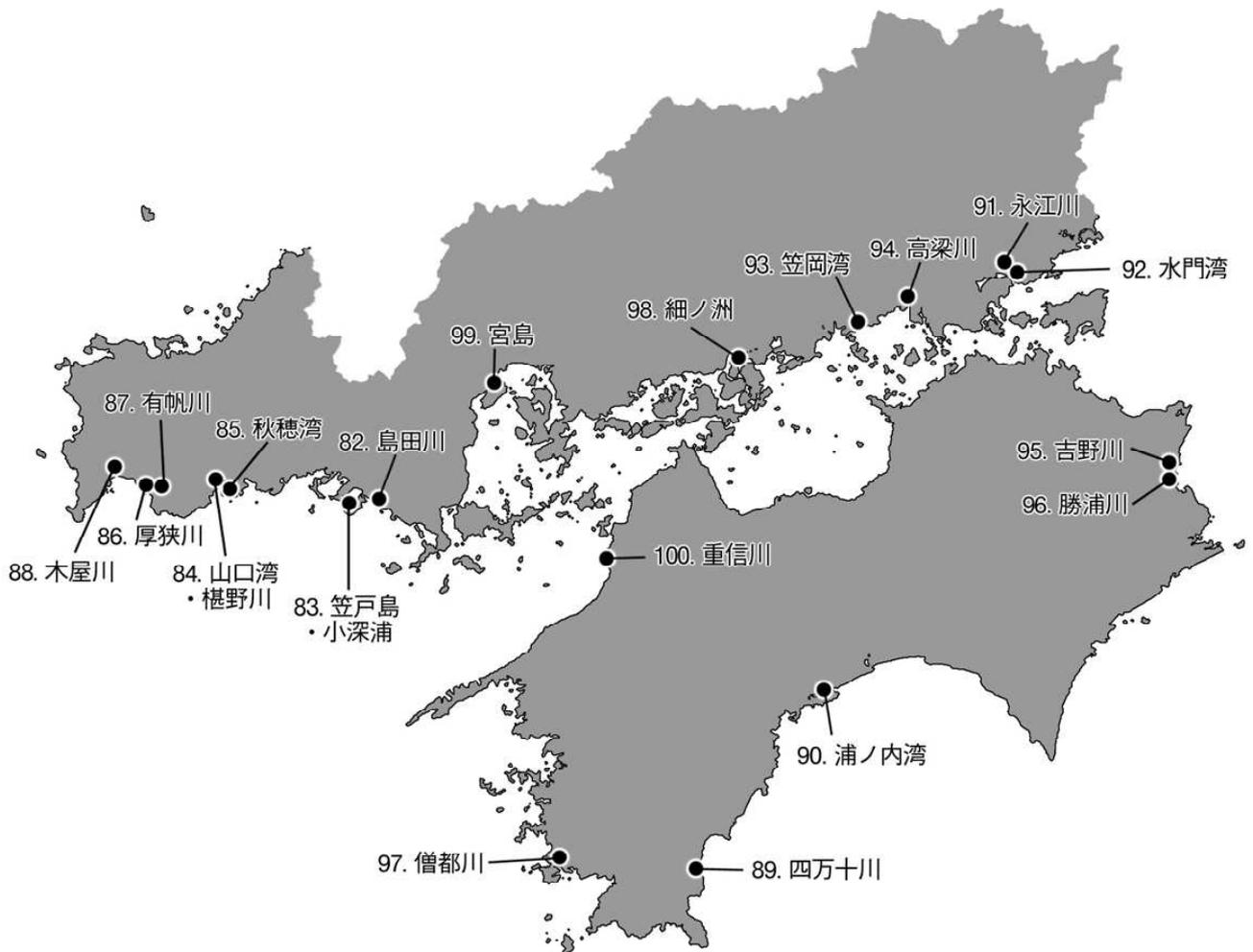
中部東海地域



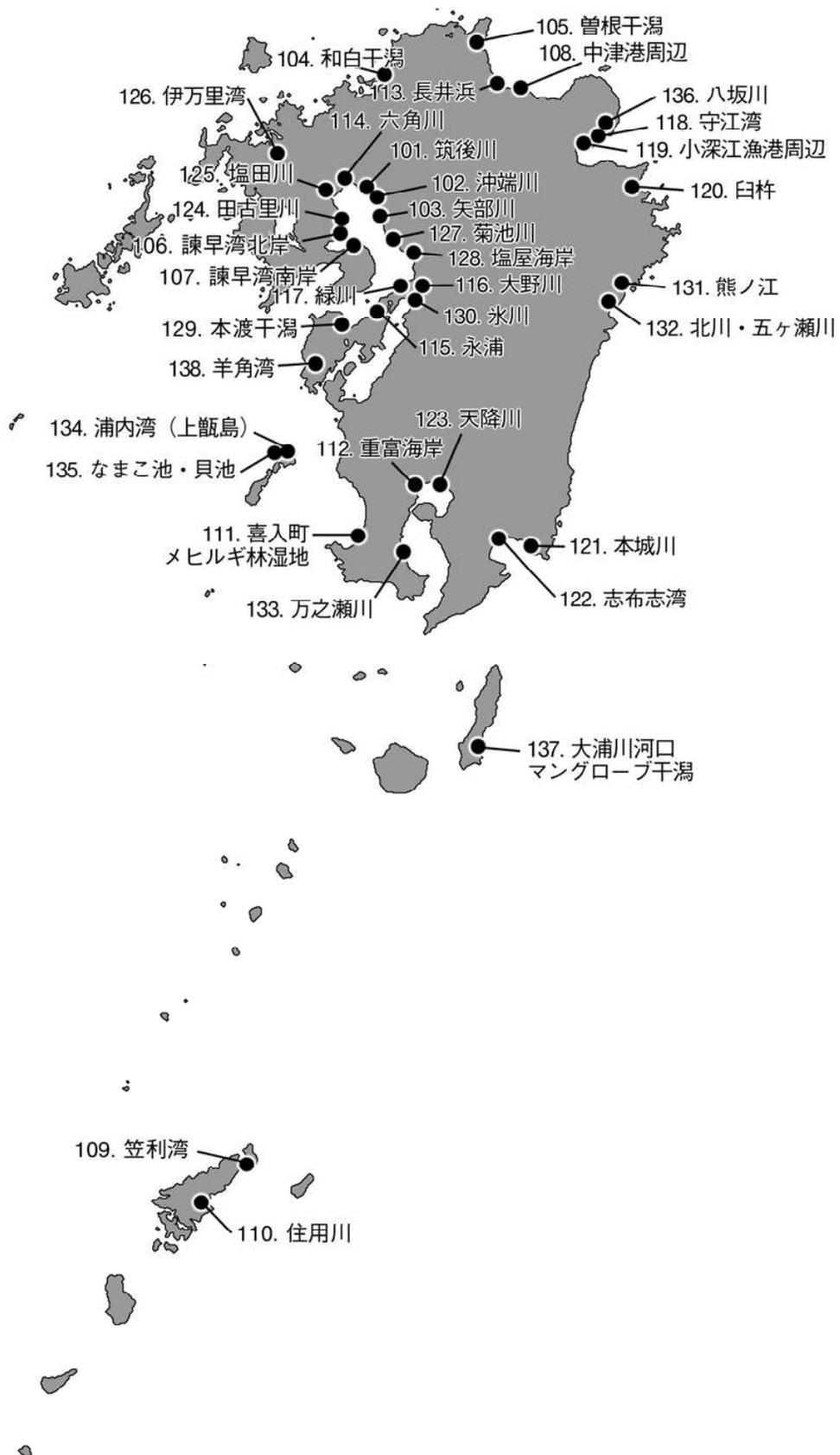
近畿地域



中国四国地域



九州地域



沖縄地域

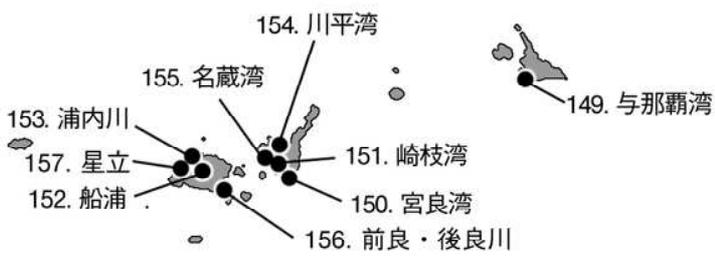
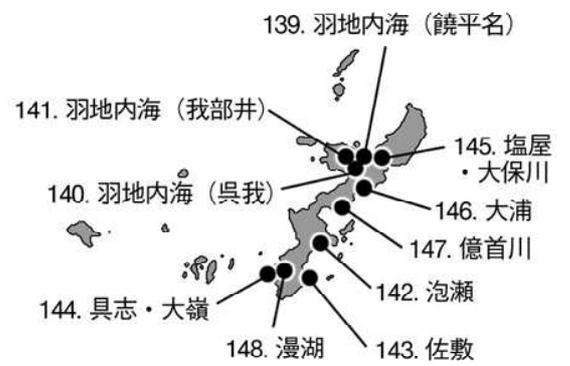
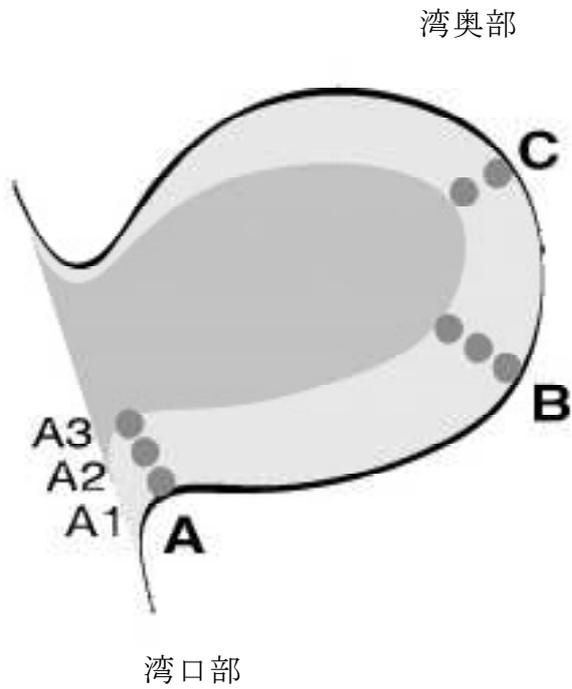
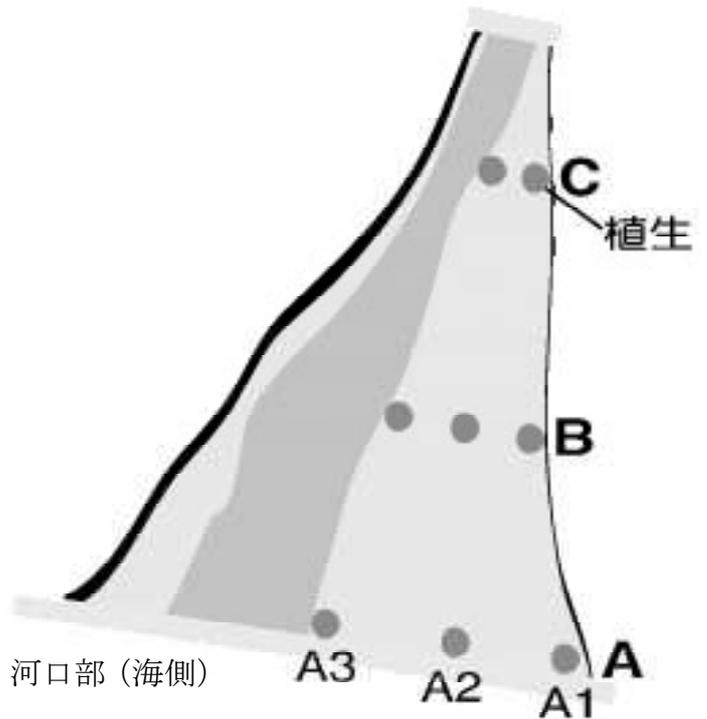


図2-3 干潟の中の調査地点概念図



〈内湾干潟〉



〈河口干潟〉